

令和6年度 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院 財務諸表の概要

1 財務諸表の概要

(1) 貸借対照表

令和7年3月31日における法人の資産、負債、純資産の状況を表示

【資産の部】			【負債の部】	
固定資産	243.7 億円	(▲ 11.3)	固定負債	207.4 億円 (▲ 1.5)
土地	13.3 億円	(▲ 0.5)	流動負債	31.6 億円 (▲ 31.5)
建物	185.7 億円	(+ 133.4)		
器械備品	29.1 億円	(+ 15.7)		
建設仮勘定	0.1 億円	(▲ 165.2)		
流動資産	64.7 億円	(▲ 51.2)		
現金及び預金	28.9 億円	(▲ 52.9)		
計	309.7 億円	(▲ 61.2)		
			【純資産の部】	
			資本金	72.5 億円 (+ 0.0)
			資本剰余金	79.0 億円 (+ 4.0)
			繰越欠損金	▲ 80.8 億円 (▲ 32.1)
			計	309.7 億円 (▲ 61.2)

(2) 損益計算書

令和6度における法人の収益とこれに対応する費用を記載し、当期純損失を表示

収益総額	209.6 億円 (+ 7.5)
営業収益	207.9 億円 (+ 7.1)
営業外収益	1.4 億円 (+ 0.2)
臨時利益	0.3 億円 (+ 0.3)
費用総額	241.7 億円 (+ 4.5)
営業費用	226.9 億円 (+ 16.7)
営業外費用	13.7 億円 (▲ 13.3)
臨時損失	1.1 億円 (+ 1.1)
当期純損失	▲ 32.1 億円 (+ 3.0)
当期総損失	▲ 32.1 億円 (+ 3.0)

(3) キャッシュ・フロー計算書

令和6年度における現金・預金(キャッシュ)の増減を活動区分別に表示

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 14.5 億円 (▲ 12.4)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 32.9 億円 (+ 42.7)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 5.5 億円 (▲ 104.7)
IV 資金増加額	▲ 52.9 億円 (▲ 74.4)
V 資金期首残高	81.8 億円 (+ 21.5)
VI 資金期末残高	28.9 億円 (▲ 52.9)

(4) 行政サービス実施コスト計算書

法人の業務運営に関して、行政サービス実施コストに係る情報を集約して表示

I 損益計算書上の費用	241.7 億円 (+ 4.5)
II その他行政コスト	0.0 億円 (+ 0.0)
(1)減価償却相当額	0.0 億円 (+ 0.0)
III 行政コスト	241.7 億円 (+ 4.5)
IV 自己収入等	▲ 190.8 億円 (▲ 7.1)
V 機会費用	2.2 億円 (+ 1.2)
VI 住民等の負担に帰せられるコスト	53.1 億円 (▲ 1.4)

※ ()内の数字は前年度との差額を表示

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

2 収支の状況

(1) 収支概要

令和6年度純損失…… ▲3,213,072千円 → +296,740千円(対前年度差額)
 (令和5年度純損失…… ▲3,509,812千円)

- ・ 収益については、入院単価の増(+1,987円)及び外来患者数の増(+8,284人)により、前年度比で約4%の増加となった。
- ・ 費用については、材料費の支出増(+2.6億円)、経費では新中央診療棟引越し費用などによる支出増(+5.5億円)及び新中央診療棟分の減価償却費の増(+7.4億円)などにより、前年度比で約2%の増加となった。
- ・ 控除対象外消費税では、前年度は新棟関係の消費税で一時的に増加していたが、今年度は引越し費用などがあるものの臨時的な支出の影響が小さく、前年度比14億円の減少となった。
- ・ 収益差については、前年度比+3.0億円となった。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R6/R5	参 考
収益	190.2	196.9	208.5	208.2	202.1	209.6	104%	診療単価 (R5) (R6)
営業収益	189.3	195.2	195.2	207.1	200.8	207.9	104%	入院 85,168円 → 87,155円
うち入院収益	119.7	114.3	124.9	121.3	118.7	121.8	103%	外来 23,580円 → 24,164円
うち外来収益	53.7	51.8	55.3	57.2	60.7	64.2	106%	
うち運営費負担金	10.9	11.7	12.5	13.9	14.6	17.3	118%	患者数 (R5) (R6)
うち補助金収益	0.6	13.6	10.5	11.2	3.3	0.8	24%	入院 139,020人 → 139,541人
営業外収益	1.0	0.8	1.0	1.1	1.2	1.4	117%	外来 256,935人 → 265,219人
うち運営費負担金	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.5	167%	
臨時利益	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.3	-	病床利用率(DPC) (R5) (R6) 79.9% → 83.3%
費用	202.5	202.5	209.6	215.0	237.2	241.7	102%	
営業費用	190.1	192.3	199.3	205.0	210.2	226.9	108%	
うち給与費	96.4	98.3	97.6	98.4	97.7	99.3	102%	
うち材料費	50.7	50.1	54.6	58.1	61.6	64.2	104%	
うち経費	28.7	29.7	32.0	33.3	35.6	41.1	115%	
うち減価償却費	13.8	13.9	14.8	14.8	14.4	21.8	151%	
営業外費用	9.1	9.7	10.3	10.0	27.0	13.7	51%	
うち支払利息	0.5	0.4	0.4	0.4	0.8	1.5	188%	
うち控除対象外消費税	8.3	8.9	9.5	9.2	25.7	11.7	46%	
臨時損失	3.3	0.5	0.0	0.1	0.0	1.1	-	
収支差	▲12.2	▲5.6	▲1.1	▲6.9	▲35.1	▲32.1	-	

※ 各項目において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

うち入院収益 (3.1億円増) 診療単価の増によるもの
 うち外来収益 (3.5億円増) 患者数の増加によるもの

イ 営業費用

うち材料費 (2.6億円増) 薬品費、診療材料費の増加によるもの
 うち経費 (5.5億円増) 新中央診療棟引越し費用などによる増加
 うち減価償却費 (7.4億円増) 新中央診療棟分の増加によるもの